

中野区新庁舎整備事業 実施設計・施工業務  
企画提案公募型事業者選定結果

令和2年2月

中野区

## 1. 審査結果

受付番号	区分	参加者名
NSCM	優先交渉権者	竹中・協永・明成・武蔵野・I N A 特定建設共同企業体
NSDO	第2位交渉権者	大成建設・久米設計特定建設共同企業体
NSAK	第3位交渉権者	清水・小河原特定建設共同企業体
NSEP	第4位交渉権者	鹿島・梓特定建設共同企業体
NSBL	第5位交渉権者	フジタ・米持・安井特定建設共同企業体

### (1) 優先交渉権者について

竹中・協永・明成・武蔵野・I N A 特定建設共同企業体

代表構成員 株式会社竹中工務店

構成員 協永建設株式会社

構成員 明成建設工業株式会社

構成員 武蔵野建設産業株式会社

構成員 株式会社 INA 新建築研究所

### (2) 各参加者の評価結果

契約交渉 順位	受付 番号	評価点						見積額	評価点 合計
		一次評価				二次評価			
		信頼性 社会性	実績	技術	地域経済 への貢献	プレゼン ヒアリング	価格 評価		
第1位	NSCM	7	15	57.10	14.54	8.0	30.42	21,340,000,000 円	132.06
第2位	NSDO	6	15	53.20	16.00	8.8	33.00	20,930,800,000 円	132.00
第3位	NSAK	8	15	55.90	10.19	8.8	33.00	20,930,949,600 円	130.89
第4位	NSEP	5	15	47.80	12.31	8.0	33.00	20,930,949,600 円	121.11
第5位	NSBL	8	15	41.40	3.63	5.4	27.64	21,780,000,000 円	101.07

※技術評価点及びヒアリング評価点は、5名の選考委員の平均点（小数点第3位以下切捨）。

※予定価格は、26,163,687,000 円

※提案価格及び予定価格は、消費税相当額（10%）を含み、計画通知等の建設に係る申請手数料は含まない価格とする。

## 2. 選考スケジュール

日 程	内 容
2019 年（令和元年） 8 月 19 日（月）	公告
9 月 19 日（木）	参加表明書等の提出期限
9 月 27 日（金）	参加資格確認結果通知
10 月 17 日（木）	V E 対話の実施
10 月 25 日（金）	V E 採用項目通知
12 月 3 日（火）	技術提案書の提出期限
12 月 17 日（火）	一次評価
12 月 19 日（木）	一次評価の結果通知
12 月 24 日（火）	二次評価
2020 年（令和 2 年） 1 月 15 日（水）	二次評価結果通知

## 3. 選考方法・経過

企画提案公募型事業者選定方式を採用し、一次評価及び二次評価の二段階評価方式で選定を行った。本選考にあたっては、専門的かつ公正な審査を行うため、学識経験者及び行政関係者により構成する「中野区新庁舎整備事業に係る事業者選考委員会（以下、選考委員会という。）」を設置し、技術評価及びヒアリング評価を行った。

### （1）応募者数

5 者

### （2）一次評価

選考委員会において技術評価を実施し、実績評価及び地域経済への貢献評価をあわせて一次評価結果とした。選定の結果、5 者とも二次評価対象者とした。

### （3）二次評価

選考委員会においてヒアリング評価を実施した。一次評価及びヒアリング評価の確定後、提案価格評価とあわせて二次評価結果とした。選定の結果、受付番号 NSCM を優先交渉権者とした。

### （4）選考委員会委員の構成

区 分	氏 名	役職名 等
委員長	中井 検裕	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
副委員長	横山 克人	中野区 副区長
委員	曾田 五月也	早稲田大学 名誉教授
委員	中島 裕輔	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	松島 進	東京都 第三建設事務所長

令和元年12月24日  
中野区新庁舎整備事業に係る事業者選考委員会  
委員長 中井 検裕

### 技術評価及びヒアリング評価の審査講評

中野区新庁舎整備事業 実施設計・施工業務実施事業者の選定につきましては、5者に参加いただき、いずれも本業務を実施するうえで十分な技術や体制を有しておりました。VE提案及び技術提案においては、本事業の計画内容を十分に理解されており、水準が高い、優れた提案を行っていただきました。また、プレゼンテーション・ヒアリングにおいては、5者とも意欲的なプレゼンテーションと質疑への的確な対応を行っていただきました。

その中で、優先交渉権者（受付番号 NSCM）の高く評価された主な提案については以下のとおりです。

- 1) 統括代理人を窓口とした情報の一元管理を行うとともに、環境及び都市計画の専門家を加えた設計・施工チームの体制であること。
- 2) 合成地下壁杭工法による地盤改良の合理化などにより、工期を4ヶ月短縮する工夫がなされていること。
- 3) エレベーターコアの合理化等により、区民スペースや執務空間を拡張できること。庁舎1階イベントスペースの内外一体利用や各スペースの機能的な配置が検討されていること。
- 4) トレリスの斜め格子フレーム化により建物剛性を高め、上部構造を合理化する提案がなされていること。
- 5) 環境負荷を低減し、周辺環境にも配慮したトレリスの提案や、井水熱利用など再生可能エネルギーの追加活用が評価できること。

短い準備期間にも関わらず、優れた提案を作成された参加者の皆様におかれましては、選考委員一同より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

中野区の新庁舎が区民から親しまれる庁舎となるよう期待しています。